



新国立劇場 2025/2026 シーズンオペラ

# ヴェルディ 椿姫

La Traviata / Giuseppe Verdi

**2026年4月2日(木)～4月12日(日)**

会場:新国立劇場オペラパレス 2026年2月8日(日) 10:00～前売開始



『椿姫』 2024年公演より

## パリ社交界に咲いた真実の愛——。屈指の人気を誇る珠玉のオペラ

オペラの代名詞として、圧倒的人気を誇るヴェルディの傑作『椿姫』。華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と悲劇的な運命が美しくドラマティックな音楽で描かれ、観るもの涙を誘う名作中の名作です。

新国立劇場のブーアル演出は、スタイリッシュで美しい舞台と洗練された豪華な衣裳も大きな見どころ。誇り高く生きた女性ヴィオレッタの姿が細やかな心理表現で描かれ、深い共感を誘います。求心的な演出が劇場を感動で包む、大好評のプロダクションです。

## 世界が注目！新星ロペス・モレノ×重鎮フロンターリ×コリアーノが魅せる『椿姫』

注目のヒロイン、ヴィオレッタには、スター街道を駆け上っているソプラノのカロリーナ・ロペス・モレノが新国立劇場初登場。著名劇場で次々に主役に抜擢され、世界のオペラファンが最も注目している新星です。アルフレードにヴェルディ得意とする注目株アントニオ・コリアーノ、父ジェルモンには日本でも絶大な人気を誇るスター、ロベルト・フロンターリ。指揮はコンサートとオペラで活躍中のレオ・フェインと、豪華キャストによる『椿姫』は、今春の必聴オペラです。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel: 03-5352-5733 / Fax: 03-5352-5709 / E-Mail: [takanashi\\_y1307@nntt.jac.go.jp](mailto:takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp)

## 世界中で不動の人気を誇るヴェルディ珠玉のオペラ『椿姫』



オペラの代名詞的作品として、圧倒的人気を誇るヴェルディ中期の傑作『椿姫』。華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と悲しい運命が、美しくドラマティックな音楽で描かれます。悲劇的な前奏曲に始まり、幕開けの夜会で歌われる有名な「乾杯の歌」をはじめ、愛に揺れるヴィオレッタのアリア「ああ、そは彼の人か～花から花へ」、父ジェルモンの切々たる「プロヴァンスの海と陸」など名曲が次々に続く、オペラの醍醐味あふれる決定的名作です。

演出のヴァンサン・ブサールは色彩にこだわる洗練されたビジュアルの



舞台に定評があり、この『椿姫』でもその美的センスを存分に発揮。高さ 12 メートルものシャンデリアや巨大な鏡に囲まれた陰影の深い舞台で効果的に心象風景を描写し、男性社会に誇り高く生きた女性ヴィオレッタの姿を印象付けます。ヴィオレッタの心理があぶり出される求心的な演出は、現代に生きる私たちの共感を呼び、圧倒的感動をもたらします。

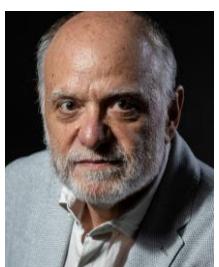
## 世界中で絶賛される最旬ソプラノ、カロリーナ・ロペス・モレノのヴィオレッタに注目！



C.ロペス・モレノ



A.コリアーノ



R.フロンターリ

悲劇のヒロイン、ヴィオレッタには、スター街道を駆け上っている新星カロリーナ・ロペス・モレノが新国立劇場初登場。ロペス・モレノは圧倒的な表現力と美声で観客を魅了し、主要劇場から引っ張りだこの世界が注目するソプラノで、2025 年 International Opera Awards 新人歌手にもノミネートされ話題を

呼びました。最旬歌手カロリーナ・ロペス・モレノのヴィオレッタに胸が高鳴ります。

アルフレードにはヴェルディを得意とするイタリア注目のテノール、アントニオ・コリアーノが出演。アルフレードの父ジェルモンには大スター、ロベルト・フロンターリがカムバック。『リゴレット』『シモン・ボッカネグラ』とヴェルディ作品のタイトルロールでオペラパレスを熱狂させてきたフロンターリが歌うジェルモンに、期待が高まります。指揮はコンサートとオペラで活躍中で、精彩に富んだ演奏が高く評価されるレオ・フェインです。



左上より L.フェイン、V.ブサー、C.ロペス・モレノ、  
A.コリアーノ、R.フロンターリ、谷口睦美

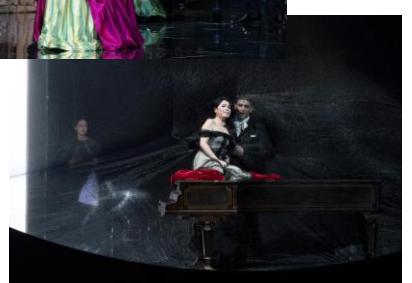
## <「椿姫」あらすじ>

パリの高級娼婦ヴィオレッタは、富豪の息子アルフレードからの求愛にためらいながらも、真摯な愛に心を開く。郊外で暮らす二人の下にアルフレードの父ジェルモンが訪れ、娘の縁談のためにも二人の関係を終わらせるよう頼む。ヴィオレッタは涙をのんで身を引くが、これを裏切りと捉えたアルフレードは夜会で彼女を罵倒する。やがて誤解と分かった時には既に遅く、ヴィオレッタは病床で愛するアルフレードに看取られ息絶える。



## <新国立劇場『椿姫』ダイジェスト動画>

<https://www.youtube.com/watch?v=YuS3BMo9lsY&t=11s>



## <主要キャスト・スタッフプロフィール>

### 【指揮】レオ・フセイン

イギリスの指揮者。ケンブリッジ大学と王立音楽院で学ぶ。ルーアン歌劇場、ザルツブルク州立劇場の音楽監督を経て、現在ジョルジェ・エヌスク・フィルハーモニー首席客演指揮者。レパートリーの中核にロマン派を置く。英国ロイヤルオペラへ2016年にエヌスク『オイディップス王』でデビューして絶賛される。サンタフェ・オペラ『カプリッチョ』、グラインドボーン音楽祭『ルクレツィアの凌辱』、モネ劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、バイエルン州立劇場、ベルリン州立歌劇場などのオペラを指揮。ジョルジェ・エヌスク音楽祭では『グレの歌』『ヴォツェック』を指揮。最近の成功作に、英國ロイヤルオペラ『魔笛』、 Frankフルト歌劇場『ロンドンのイタリア女』、トゥールーズ・キャピトル劇場『ヴォツェック』『死の都』、テアトロ・レアル『ラクメ』など。最近では、ハノーファー歌劇場『サロメ』、ハンブルク州立歌劇場『魔笛』、ノルウェー国立オペラ『ヘンゼルとグレーテル』、ザクセン州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場『サウル』、Frankフルト歌劇場『ポントの王、ミトリダーテ』、ザクセン州立歌劇場『後宮からの逃走』などのほか、ジョルジェ・エヌスク・フィルハーモニー、ミュンヘン放送管弦楽団、オーケランド・フィル、ウィーン・コンツェルトハウスなどに登場。新国立劇場初登場。

Leo HUSSAIN



### 【演出・衣裳】ヴァンサン・ブサール

Vincent BOUSSARD

1999年コメディ・フランセーズにて演出家デビュー。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、Frankフルト歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、スウェーデン王立歌劇場、モネ劇場、サンフランシスコ・オペラ、エクサン・プロヴァンス音楽祭、インスブルック音楽祭など各地の歌劇場や音楽祭に登場。演出作品には、パーセル『ディードとエneas』、ヘンデル『テオドーラ』、シャルパンティエ『オルフェウスの冥府下り』、カヴァツリ『エリオガバロ』などのバロック・オペラ、メノッティ『マリア・ゴロヴィン』、ブノワ・メルニエ『春の目覚め』などの現代オペラのほか、『偽の女庭師』『カブレーティ家とモンテッキ家』『カルメン』『蝶々夫人』『サロメ』『アドリアーナ・ルクヴルール』『キャンディード』など多岐に渡る。最近では、ストラスブル・ラン歌劇場で『椿姫』、リトアニア国立オペラ『マノン』、ザルツブルク・イースター音楽祭『オテロ』、ザンクト・ガレン歌劇場『ローエングリン』、リセウ大劇場『カブレーティ家とモンテッキ家』、ワロン王立歌劇場『清教徒』などを演出。幾つかのプロダクションはテレビ放映やDVD化され、『春の目覚め』はディアパソン・ドール賞を受賞している。



### 【ヴィオレッタ】カロリーナ・ロペス・モレノ(ソプラノ)

Carolina LÓPEZ MORENO

ドイツ出身のボリビア系アルバニア人ソプラノ。シュトゥットガルト音楽大学を卒業後、同大学オペラシューレ、ニューヨーク・マンハッタン音楽院、ダルトロ・カント・プログラムで研鑽を積む。エリザベス・コネルコンクール優勝のほか、ポルトフィーノ国際声楽コンクール、ヴィニャス国際コンクール、メトロポリタン歌劇場ナショナル・カウンシル・オーディションなどで入賞。2022年にバーデン・バーデン祝祭劇場『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントツツアに出演後、ワロン歌劇場『アドリアーナ・ルクヴルール』タイトルロール、『ファルスタッフ』アリーチェ、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、カリアリ歌劇場『ラ・ボエーム』ミミ、トッレ・デル・ラゴ・プッチーニ音楽祭、フィレンツェ歌劇場『蝶々夫人』タイトルロール、トリノ王立歌劇場『つばめ』マグダなど主要劇場に次々に出演し国際的に活躍。最近では、フィレンツェ歌劇場、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『椿姫』ヴィオレッタ、フィレンツェ歌劇場、リヨン歌劇場『蝶々夫人』タイトルロール、ワロン歌劇場『フィガロの結婚』伯爵夫人、プッチーニ音楽祭『トゥーランドット』リュ、フィレンツェ歌劇場『ラ・ボエーム』ミミ、ケルン歌劇場『マノン・レスコー』タイトルロール、パレルモ・マッシモ劇場『アレコ』ゼムフィーラ／『道化師』ネッダなどに出演。今後の予定に、ローマ歌劇場、バーデン・バーデン・イースター音楽祭『ラ・ボエーム』ミミ、カターニア・マッシモ・ベッリーニ歌劇場、バレンシア・ソフィア王妃芸術宮殿『トゥーランドット』リュ、テアトロ・レアル『ファルスタッフ』アリーチェ、フィレンツェ歌劇場『シモン・ボッカネグラ』アーメリアなどがある。新国立劇場初登場。



### 【アルフレード】アントニオ・コリアーノ(テノール)

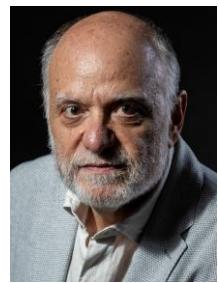
Antonio CORIANO

バルマのベルカント・ユニヴェルサーレ・センターで音楽を学び、ボローニャのアカデミア・フィラルモニカで専門課程を修了。2012年、ラヴェンナ音楽祭『イル・トロヴァトーレ』のマンリーコでデビュー。リッカルド・ムーティ指揮ローマ歌劇場『マクベス』、ジェームズ・コンロン指揮フィレンツェ歌劇場での『マクベス』、ヴァレリー・ゲルギエフ指揮ミラノ・スカラ座での『マクベス』、ダニエレ・ガッティ指揮ミラノ・スカラ座『椿姫』など権威のある指揮者のもとで出演を重ねる。レパートリーには、最近では、ラヴェンナ音楽祭『カルメン』ドン・ホセ、『アロルド』タイトルロール、モンテカルロ歌劇場、フェニーチェ歌劇場、バルマ王立歌劇場『第一次十字軍のロンバルディア人』アルヴィーノ、マエストランサ歌劇場『カルメン』ドン・ホセ、『ナブッコ』イズマエーレ、バルマ王立歌劇場『仮面舞踏会』リッカルド、エアフルト歌劇場『ルイザ・ミラー』ロドルフ、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『ノルマ』ポリオーネ、バルセロナ・リセウ大劇場『トスカ』カヴァラドッシ、オビエド・オペラ『ラ・ボエーム』ロドルフ、『カルメン』ドン・ホセなどに出演。24年、バルマ・ヴェルディ音楽祭ヘリッツァ指揮『アッティラ』でデビューを飾った。新国立劇場初登場。



**【ジェルモン】ロベルト・フロンターリ（バリトン）****Roberto FRONTALI**

オペラ界を代表する世界屈指のバリトン歌手のひとり。キャリア初期はベルカント、その後ヴェルディ、最近ではプッチーニやヴェリズモをレパートリーとする。1990 年代初頭にメトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座へデビュー。特に重要な出演に、アバド指揮『セビリアの理髪師』、ミラノ・スカラ座で 10 年に渡り共演したムータ指揮『椿姫』『ファルスタッフ』『ドン・パスクワーレ』、メータ指揮『運命の力』『ルチア』『ファルスタッフ』、チョン・ミョンファン指揮『ドン・カルロ』(ザクセン州立歌劇場)、『リゴレット』(フェニーチェ歌劇場)などがある。最近の特筆すべき公演に、ミラノ・スカラ座『薔薇の名前』サルヴァトーレ、ハンブルク州立歌劇場『ドン・パスクワーレ』、カラカラ浴場音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』、フェニーチェ歌劇場、トリノ王立歌劇場『トスカ』、チューリヒ歌劇場『魔弾の射手』、フェニーチェ歌劇場『椿姫』などがある。新国立劇場では 98 年『セビリアの理髪師』フィガロ、2002 年『ルチア』エンリーコ、15 年『トスカ』スカルピア、23 年『リゴレット』『シモン・ボッカネグラ』タイトルロールへ出演している

**【フローラ】谷口睦美（メゾソプラノ）****TANIGUCHI Mutsumi**

東京藝術大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオマスタークラス修了時に優秀賞受賞。第 19 回出光音楽賞受賞。平成 22 年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。二期会『皇帝ティートの慈悲』セストで一躍注目を集め、以降、『ナクソス島のアリアドネ』作曲家、『カプリッチョ』クレロン、『ドン・カルロ』エボリ公女、『リゴレット』マッダレーナ、三河市民オペラ『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、びわ湖ホール『ラインの黄金』フリッカ、『神々の黄昏』フルトラウテ、『ローエンゲリン』オルトルート等出演。2023 年神奈川フィル・京都市交響楽団・九州交響楽団『サロメ』ヘロディアスで好評を博す。新国立劇場では『ナブッコ』フェネーナ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』ローラ、『鹿鳴館』大徳寺公爵夫人季子、『ホフマン物語』アントニアの母の声／ステッラ、『椿姫』アンニーナ、『夢遊病の女』テレーザなどに出演。21 年鑑賞教室及びびわ湖ホール公演『カルメン』タイトルロールでも好評を博した。25/26 シーズンは『リゴレット』ジョヴァンナ、『椿姫』フローラ、『エレクトラ』第 2 の下女に出演予定。二期会会員。



## 新国立劇場 2025/2026 シーズン オペラ

ジュゼッペ・ヴェルディ **椿姫** 全3幕  
 〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉  
 La Traviata / Giuseppe VERDI

【公演日程】2026年4月2日(木)18:00／4日(土)14:00／6日(月)14:00／10日(金)14:00／12日(日)13:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円

【前売り開始】2026年2月8日(日)10:00～

※予定上演時間 約2時間45分(休憩含む)

|                               |                  |
|-------------------------------|------------------|
| 指揮                            | レオ・フセイン          |
| Conductor                     | Leo HUSSAIN      |
| 演出・衣裳                         | ヴァンサン・ブサール       |
| Production and Costume Design | Vincent BOUSSARD |
| 美術                            | ヴァンサン・ルメール       |
| Set Design                    | Vincent LEMAIRE  |
| 照明                            | グイド・レヴィ          |
| Lighting Design               | Guido LEVI       |
| ムーブメント・ディレクター                 | ヘルゲ・レトニヤ         |
| Movement Director             | Helge LETONJA    |
| 再演演出                          | 澤田康子             |
| Revival Director              | SAWADA Yasuko    |

|                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ヴィオレッタ            | カロリーナ・ロペス・モレノ         |
| Violetta Valéry   | Carolina LÓPEZ MORENO |
| アルフレード            | アントニオ・コリアーノ           |
| Alfredo Germont   | Antonio CORIANÒ       |
| ジェルモン             | ロベルト・フロンターリ           |
| Giorgio Germont   | Roberto FRONTALI      |
| フローラ              | 谷口睦美                  |
| Flora Bervoix     | TANIGUCHI Mutsumi     |
| ガストン子爵            | 金山京介                  |
| Visconte Gastone  | KANAYAMA Kyosuke      |
| ドウフォール男爵          | 成田博之                  |
| Barone Douphol    | NARITA Hiroyuki       |
| ドビニー侯爵            | 清水宏樹                  |
| Marchese D'Obigny | SHIMIZU Hiroki        |
| 医師グランヴィル          | 久保田真澄                 |
| Dottor Grenvil    | KUBOTA Masumi         |
| アンニーナ             | 花房英里子                 |
| Annina            | HANAFUSA Eriko        |

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 合唱指揮          | 富平恭平                         |
| Chorus Master | TOMIHIRA Kyohei              |
| 合唱            | 新国立劇場合唱団                     |
| Chorus        | New National Theatre Chorus  |
| 管弦楽           | 東京フィルハーモニー交響楽団               |
| Orchestra     | Tokyo Philharmonic Orchestra |

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 芸術監督              | 大野和士        |
| Artistic Director | ONO Kazushi |

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/latraviata/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* Z席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。\* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



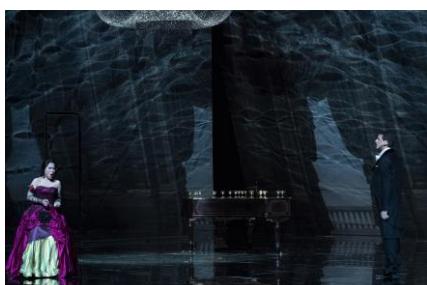
【1】



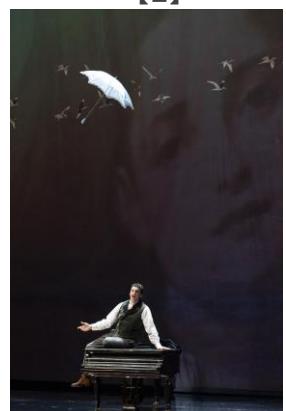
【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】



【12】

新国立劇場『椿姫』2024年公演より 撮影:堀田力丸